







上場植民地 T. S. 生

一露兵に依つて將に軍旗を奪われんとする一刹那、「君の○○が無事に我を忘れて萬歳を連呼した、觀客は一聲取り戻す處で閉幕した。観客は一聲はビーベーと聲を限りに叫んだ。閉幕後十五分間位は人々の間にがやくと詰しが絶えなかつた。それから八幕ごとなつて大劇場となつた、時刻は十一時を過ぎてゐた。

一同は衣裳を脱いで休息する事にした。何が喰べ様と思つても餘りの嬉しさに何も喰へ通らない。やあ上出るも。予は既に大靈道なるものを新處の名利色及慢怒詐誇用する者は或意味に於ける一つの手段に過ぎないのである。

人體光明も體光は西暦一九二二年大劇となるのだ。Y氏、O氏、S氏、T氏はもう變装に取掛つてゐる。續いてN氏、I氏も始めた。これからは僕等が諸道具方をするので皆軽快に着裝つて舞臺に上つた。舊劇は左ノ一三義の建物の一部を借受け事務所兼講演場に宛て、東京は勿論大坂其他各都市の諸新聞に大々的廣告をなし盛んに會員を募集したるも男女の區別を知るなどとは如何に修養を重ねても不可能の事は火を見るのであつた。

義錄の様な雑誌を發行し日本金十五か月に亘り其の人の性格の總てを知りたる者には右本部の近くに居たる處より大靈道なるものは如何なる事をなすものと調へた結果、一つの講義錄により修養せは即ち人體光明子がでもない事では火を見るのである。今後科學の力によれば、其の人の性格の總てを知りたる者には右本部の近くに居たる處より大靈道なるものは如何なる事かと云ふ結論になつて居るのである。當である事は周知の通りである。之等の感じたまゝを述ぶれば確實の根據あり會員中には相當地位ある人士もあつた。予の友人も會員の一人であるが、予の友人も會員の一人であつたのを幸ひ右講義錄を一讀した後時新聞廣告の秘訣により相當會員もその死體が永の月日雨露に曝し置く時徐ろに燃燒するのである。此際自ら熱を發する故空氣の比重と同等位置に其功能を誇張的に吹聴するに過ぎない、而して之等の方法を注意して傳説があるのである。

近所の鶏が羽搏きをし乍ら啼いた。H君、O君はもうかすかに點を立てある、時々色々な化粧品の香が流れ来る、水を打つた様に静かだ、一時肺位前までは大脹ひだつたがなあと思つた、外では舞臺の布に風があたつてバタバタ音を立てゝゐた。(終り)

### 身體靈子の放線 靈理の新發見を讀み(一)

によりて肉體機關に多少の影響を引起す事もある。故に甚だ心弱い事であつた、靈魂なるものの根本的な原理を説明するものは孰れも皆徒ら虚妄である。靈魂なるものは孰れも皆徒ら靈魂なるものの根本的な原理を説明するものは孰れも皆徒ら虚妄である。

靈魂なるものは孰れも皆徒ら靈魂なるものの根本的な原理を説明するものは孰れも皆徒ら虚妄である。

靈魂なるものは孰れも皆徒ら靈魂なるものの根本的な原理を説明するものは孰れも皆徒ら虚妄である。

靈魂なるものは孰れも皆徒ら靈魂なるものの根本的な原理を説明するものは孰れも皆徒ら虚妄である。

靈魂なるものは孰れも皆徒ら靈魂なるものの根本的な原理を説明するものは孰れも皆徒ら虚妄である。

靈魂なるものは孰れも皆徒ら靈魂なるものの根本的な原理を説明するものは孰れも皆徒ら虚妄である。

靈魂なるものは孰れも皆徒ら

春は涼風と共に音連れて来て此の平和なモンソンにも美しく清く恵まれた太陽は輝いてゐました。今日は眞實に長閑な日和で人の心の底を鋭利な力が何かでえぐる時やうに凝つとさしてはおかないやうに凝つとさしてはおかないやうでした。

私は山田氏に招かれて其子息二人の結婚式に参列しました。山田氏は直接に暇のない程多忙さでしたのが何處かに満足の悦びがあつてゐました。

新來の美しい婦人は皆んなの視線を浴び乍らやゝすればすら紅色麗な顔に風の爲めに亂れる髪の毛をかき上げも得ず凝つと行儀正しく座つてゐました。

澄んだ涼しい双眸は時々物に驚いたやうに美しく清く輝き、而して真赤な紅の唇は花の綻びるかのやうに動きました。

十五六年振りで身に錦を飾り歸朝して多くの郷友に歓迎され、その人々の羨望の中心になつた山田氏の子息は今日の主人公なのです、その洒脱たる洋服姿の新郎新婦は、人間の生活に於ける一番樂しく且つ一度しきやない此の祝福された日の矜持を、包みきれない感激の潮を小さな胸の内に飛躍させておる事でせう?

併し赤く燃える血の充満してゐる青春時代の青年と、美しく清く優しく女性とを結婚「吾人は少くも偉大なる」と云ふ名に依つて無惨にも若人としての現在より奪ひ去られる事は實に惜しく嫌な、一種寂漠な氣持がして彼等が夫婦としての新き生涯に入る今日を呪咀し、否そのにはおられませんでした。

噫々彼等は今日と云ふ日を限りとして青春としての純新さと情熱を燃

## 宴

第二モンソン 小原生

えたつやうな憧憬と若人の持つ氣高さを振捨て、新しさ覺悟の泉を求めるければならないのです。

若き女のいくなりもいくなりも青に赤に緑に黄に色さりんのあでやかな姿は右も左も前に後にもにはふ香のハートに響きして内色の諸よに

ありし日のうた

富岡耕村

本書を購ひ坐石に備へない人です

## 北海道の端から九州の端迄

夢見ながら出来る旅行

### 神田上野間高架線

#### 關門海峡のトンネル

神田、上野間の高架線も十月までに開通するが、一方鐵道は三百萬圓の巨費を投じ、十八年度一ぱいに同所に上野、神田間旅客列車の分を二線増設し、それと同時に車輛積込みの連絡船により北海道と青森との交通を圓滑にし、旅客は一路直に上野、東京を経由して東海山陽を突破し、關門海峡トンネル（これも十八年度に完成）を経て、九州各線（長崎、鹿児島）に到達する幾千マイルを一つの汽車に乘るながら旅行出来るといふ譯で、乗換の手数もいらねば諸種の不便も一掃されて各列車共約一時間乃至三時間の短縮を見た。運賃にも一部改正されるべく目下研究中である。さもあれ青森壁工事はこの五月頃までに全部竣成を見るはずであるから、上野、神田間の高架線（出来れば、北海道から何時でも下の關までは客車の運轉を見られる譯である、更に大正十七年度までには品川と田端に大操車場を設け、常盤、東北、信越線は品川で車輛を仕立て、東京驛發とし、東海道線は田端で操車して東京驛發として總て發駆の中心が上野驛から東京驛に移る譯である、以上は十八年一度ばかりで出來る上野の譯であるが、その準備なりかつ電化交換の見地よりして東京驛を中心電線路の延長が行はれる

お珍らしく

皇后宮のお笑ひ

軍人、消防各團中より網曳に巧者な者をすぐつて約一時間に亘り御覽に

入れた、皇后宮には此日御花見のク

リーム色の御洋裝に白のポンチット

署では事件の餘り大袈裟なるに驚き

満鮮（數萬個の拳銃と

彈薬を密輸

阪神の共犯三十名

和歌山警察署では大阪、兵庫方面に

宮から御自ら御命じになつたので三

月二十八日午前十時より青年、在郷

軍人、消防各團中より網曳に巧者な

者をすぐつて約一時間に亘り御覽に

入れた、皇后宮には此日御花見のク

リーム色の御洋裝に白のポンチット

署では事件の餘り大袈裟なるに驚き

出せる事が發覺したもので和歌山

福岡縣の大

火を起したが同所は自拔きの場所で波

佐見銀行、旅館など多數あり大混雑

を呈した

大活躍を開始し阪神地方の其犯者三

十餘名を引致し日下嚴重取調中であ

るが、密輸出の

裏面には共産主義者が潜在し

て居るものゝ如く傳へられて居る

女學生に接吻の

方法迄教へる高女

方法迄教へる高女

胸部を突刺す

手塚太郎が質盜の

胸部を突刺す

方法迄教へる高女

胸部を突刺す

手塚太郎が質盜の

胸部を突刺す

方法迄教へる高女

胸部を突刺す

手塚太郎が質盜の

胸部を突刺す

方法迄教へる高女

胸部を突刺す

手塚太郎が質盜の

胸部を突刺す

方法迄教へる高女

胸部を突刺す

手塚太郎が質盜の

胸部を突刺す

方法迄教へる高女

胸部を突刺す

手塚太郎が質盜の

胸部を突刺す

手塚太郎が質



